

石巻・十三浜プロジェクト 2014

中村華子

十三浜地区とは 気仙地域の南端に位置する大河・北上川の河口左岸十三浜地区。もとは宮城県本吉郡の十三浜村でした（明治 22 年～昭和 30 年）。志津川湾との境に位置する神割崎までが十三浜（小滝・大指・小指・相川・小泊・大室・小室・白浜・長塩屋・立神・月浜・吉浜・追波の計 13 の浜・部落）です。旧北上町が平成の大合併で石巻市となりました。



十三浜プロジェクト ～地産材の有効活用と地域活性化に向けた取り組み

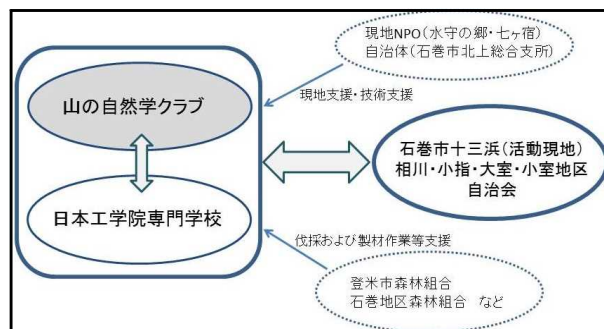
2011 年に宮城県七ヶ宿で水源を守る活動をされている特定非営利活動法人 水守の郷・七ヶ宿さんが活動されている石巻市十三浜地区にご一緒させて頂いたことがきっかけとなり、活動が始まりました。「地域の資源を大切に活用すること」、「人の手によるものづくり」を大切に考え、日本工学院八王子専門学校建築設計科の先生方に相談し、2012 年から学校のカリキュラムで取り組んで頂いています。以下の手順で、今後も対象等を検討しながら続ける方針です。

- (1) 地域の方（自治会・自治体）と相談しながら伐採／近隣での製材など
- (2) 自治会のみなさんと相談し、製作する建造物および製作スケジュールを検討する
- (3) 木材を日本工学院八王子専門学校に運搬し、学生が実習課題として製作に取り組む
- (4) 学内での製作発表を行った後、現地に運搬し組み立て・設置を行う
- (5) みなさんのご意見や使用状況に応じてメンテナンス・補修などを行う

専門学校では、建築学科の一年生が毎年取り組んでいる「はじめての建築」という課程で、現地地産材を素材として使用し、この地域で利用する建築を製作します。現地では自治会のみなさんと相談しながら設置場所を決めたり、新しい場所へ移動したり、適宜行います。

プロジェクトの実施体制

この活動は、多様な主体の関わりで成り立っています。現地のみなさんの積極的な姿勢、柔軟に対応して下さる石巻市北上総合支所や森林組合のみなさん、水守の郷さんはじめ仲間のみなさん、すべてが本当に不可欠です。



2014年の十三浜プロジェクト

2011年は相川地区で塩害で枯れそうな杉を伐採させて頂き、2012年にはやはり塩害を受けた長塩谷地区海岸林のマツを製材して、製作資材の一部として利用させて頂きました。2014年には集団移転地で伐採した樹木も引き取らせて頂いています。2013年の日本工学院「はじめての建築」課程では、子育て支援センターで使って頂く遊具やベンチを3つ、仮設団地の近くなどで使って頂く東屋を3つ、そして道具などをしまうために使って頂く小屋をふたつ、設計・製作しました(右:製作一覧写真)。



現地への設置・1 2014年3月(1)

2013年製作の建築物の本格的な運搬・設置に先がけて、前年度に製作し持ってきていた小屋を組み立てしました。八角形に設計された小屋です。畑で作った作物や、肥料などを保管するのに使って下さるそうです。有機物を保管するにはスチールの密閉された小屋よりも木造の方が好ましい場合も多いようで、活用して頂けそうです。

杭を打って固定するなど、風対策を充分にして設置します。屋根をつけて、扉に南京錠をつければそこそこ使って頂けそうな作業小屋に。この土地の所有者・遠藤さんも見守って下さいます。



現地への設置・2 2014年3月(2)

2013年に専門学校で製作した建築を、3月に現地へ運びました。少し振動が不安な荷物もあり;いつも八王子でお世話になっている運送会社をお願いしたそうで、手慣れたドライバーさん、慎重に運んで来てくださったようです。

それぞれの設置場所に、みんなで手分けして降ろしました。今回、子育て支援センターには遊具とベンチを設置させてもらいました。この建築を設計し、製作を中心になって担当した学生さんが来ていましたので、一生懸命みなさんに説明していました。組み立てしたらすぐにみんな集まってきてくれました!喜んでもらえて嬉しかったのではないかと思います。



3月22日 トラックが八王子から到着!



相川の子育て支援センターで遊具を組み立てて、記念写真。誰が学生で、誰が子供なのか... みんなで楽しく使ってね！

仮設団地のわきに以前置かせて頂いたベンチつき東屋が思った以上に好評だったらしく、増設を要望されていました。今回のものがお気に召すかどうかわかりませんが；みなさん学生さんの作業を見守ってくれたり、アドバイスを下さったり、お手伝いして下さったり、はたまた足りない工具を貸して下さったり... どっちが主役か手伝いか... とにかくこれも、また、楽しい時間です。そして、ほんとうの学習はこのような体験から生まれるのでしょうか。(きっと)



ピザ釜の横には、開くと売店のような屋台風の小屋が組み立てられています。2012年に製作した建築です。このピザ釜は2012年3月にみんなで大谷石を運んで作った、あのピザ釜です！競輪事業などたくさんの支援もあり、海藤さん達により外側のすてきな小屋やウッドデッキも整備されて、すっかり立派な「石窯広場」に。そして、現在ここで夏祭りが行われるなど、地域に役立っています。



大室地区へ

2014年から大室地区へも建築を置かせて頂けることになりました。まず今年は道具などを置くことの出来る小屋をふたつ、運んで設置させて頂きました。当初は漁業用テントの中の棚がわりに、と思ったのですが、場所の都合で屋外に設置させて頂きます。

大室地区は「大室南部神楽保存会」のみなさんにたいへんお世話になっている地区です。



十三浜 浜の歳時記・2014年

【5月 きたかみ春祭り・大室南部神楽】 2013年5月に復活祭を行った大室南部神楽。

今年は地域みんなで盛り上がるお祭りにしよう、「きたかみ春祭り」と銘打ってお祭りとして開催しました。女川法印神楽や一関の下大籠南部神楽などにも上演してもらい、屋台などもたくさん出されて一日中、たいへん賑やかでした。何百人もの人が訪れ活気にあふれました。2011年から保存会のみなさんがずっと支援、アドバイスを頂いている一関の下大籠南部神楽保存会から今年も組み立て式の舞台をお借りして上演。地元の工務店のメンバーを中心に、みんなで組み立て／解体をします。さすがは漁師のみなさん、手際がよいです！



【8月 十三浜夏祭り】 相川音楽祭として始めた夏祭り。こちらもどんどん賑やかに、大きくなっています。そして地域の方が中心になって運営されるようになりました。この日のために子供たちが練習した十三浜甚句のお披露目や、太鼓でお祭りが始められます！

昨年、神奈川のみなさんが中心となって寄付を集めて実現させた花火。今年も一生懸命に支



援を集めて実現されました。今年は仲間のみなさんで参加されました。仙台の火薬やさんの協力もあり、すばらしいフィナーレを飾ってくれました。

【9月 ツール・ド・東北】 2013年11月に第1回が行われたサイクリングイベント「ツール・ド・東北」。2014年は9月14日に、石巻専修大学をスタート&ゴール地点として開催されました。60 km、100 km、170 km、220 kmの4つのコースを選んで参加し、最長コース



ではなんと、気仙沼までを往復します。

十三浜では、にっこりサンパーク前にエイドステーションが設けられ、地元の方もボランティアスタッフとしてツーリストへのサービスを行うようです。今年はケネディ駐日大使ら3000人が参加したそうです。この日は好天に恵まれて、自転車は本当に気持ちよさそうでした！

調整・メンテナンス

春に引き続き、5月以降も何回か、お祭りなどのお手伝いを兼ねたり、メンテナンスや打ち合わせ、調査のため、現地へ訪問させて頂きました。この活動の大切なところは、置くことで完成、ではないところです。日々、海や畑に出て生業を営む地域みなさんに、少しでもお役に立つことを目指して、改善を重ねます。一方、お使い下さるみなさんはその前にもどんどんご自分の目的に合わせて手を入れて下さいます。時々しか行くことのできない私たちが、安心して活動できる（置いてこられる）のは、いつも目をかけ手をかけて下さるみなさんがいらっしゃるからです。



夏に大室に何うと、さっそく、外壁が補強されるとともに、風対策の重りやロープが張られています。中にはたくさんのおかれています。どんどん使って頂けると、私達も嬉しいです。

今年、楽天さんのスタッフが見えたそうです。そのとき楽天球場で使っているツタ飾りを持ってきて下さったようで、ベンチのある東屋に取り付けられていました。夏は日陰になって気持ちよさそうです。こちらに今度は、冬に寒くないよう、風よけをとつける予定です。



はじめての建築・2014年

10月に日本工学院八王子専門学校へお邪魔しました。活気あふれるものづくり工房です。この2日後に学園祭を控え、みなさんの製作が佳境に入っていました。



学園祭では各班、プレゼン発表を行ってコンテストをしたり、来訪者のみなさんに説明したりするそうです。そしてこの後現地へ運ぶまで、一度解体します。ですから、最初に組み立てるときに、現地での組み立て方を（できるだけ；）考えながら作っていきます。

学生さんひとりひとりが、先生が提示した課題に対して（現地の状況や、必要とされている要素をお話するようです）アイデアを出し、デザインします。それぞれのデザインを各自すべて一度模型として形にします。その中からいくつかを選んで製作するものを決めていきます。



そして、いくつかの班に分かれて、みんなで実際の建築製作に取り組み、つくりあげるのが「はじめての建築」の課程で取り組んで下さっている内容です。

今年もいろんなアイデアからすてきな作品が生み出されたようです。来年以降に、現地へ持っていくのが本当に楽しみになりました。



2015年の活動に向けて

写真は橋浦地区にある子育て支援センターです。2014年に製作した遊具やあずまやのうちいくつかは新たに、こちらで使って下さる予定です。このセンターでは幼児保育も担当していらっしゃるようで、小さなお子さん達の姿も見られ、たくさんの声が響いていました。

こちらに置かせて頂きに来るのが楽しみです！

右写真は白浜地区です。北上側の河口に近いこともあり、かなり早くから国道沿いの工事が始まっていましたが、ようやく2014年、移転地の造成が始まりました。10月に伐採が始まったとご連絡頂いたので現地へ参りました。石巻市北上総合支所から手配して下さい、伐採したスギの一部を分けて頂けることになり、担当事業者の方と相談をしながら、引き取らせて頂きました。来年以降の製作に、大切に使用させて頂きたいと思います。

